

京都映画賞の概要について

1 創設の趣旨

- 「日本映画発祥の地・京都」は、かつて「東洋のハリウッド」と呼ばれるほど映画文化が興隆し、多くの優れた時代劇をはじめとする日本映画とその作り手、支え手を生み出してきた。
- しかし、現在、京都での映画制作本数は大きく減り、「映画のまち・京都」が培ってきた技術の継承が危ぶまれるなど、京都の映画文化は衰退に直面している。
- また、新型コロナウイルス感染症の影響により、さらに厳しい状況にある映画界の回復に向けた取組が求められている。
- こうした状況を踏まえ、京都の映画文化の振興と継承を図るため、令和4年度に「京都映画賞」を創設。
- 市民を中心に全国の「京都」「映画」を愛する多くの人々のメンバーシップを形成し（「京都映画賞会員」）、会員の投票で京都ゆかりの優れた映画を顕彰する（「作品賞」）。また、映画制作の支え手（スタッフ）へスポットを当てる（「優秀スタッフ賞」）とともに、次世代の映画の作り手をサポートし（「奨励賞」）、京都の映画文化を未来に継承していく。

2 コンセプト

- 映画を「見る人」の裾野を広げる
- 映画を「支える人」の仕事を広く伝える
- 映画を「作る人」を次世代に繋ぐ

3 事業概要

(1) 京都映画賞会員について

項目	内 容
1. 趣 旨	京都映画賞の創設に当たり、多くの方に京都所縁の作品鑑賞や映画館へ足を運ぶ機会を創出し、京都の映画文化を盛り上げていくため、「京都」「映画」を愛する人々によるメンバーシップを形成する。
2. 名 称	京都映画賞会員
3. 対 象	「京都」、「映画」を愛し、京都の映画文化を盛り上げていただく方。年齢、居住地などの制限は設けない。 ※ 映画関係者の皆様には積極的な加入をお願いする。 ※ 名誉会員（アンバサダー）として、京都所縁の俳優・著名人に就任いただく。
4. 加入方法	インターネット（公式WEBサイト）による登録
5. 会 費	無料
6. 役 割	「作品賞」受賞作選定の投票
7. 特 典	・映画情報（作品賞候補作及びその他作品の情報、各映画館の公開情報、コラム等）の提供（メールマガジン：概ね月1回配信） ・京都映画賞の表彰式・上映会への招待（抽選） ・会員限定イベントへの招待

(2) 作品賞について

項目	内 容
1. 趣 旨	題材、舞台、撮影、ロケ地が京都であるなど、京都所縁の作品（時代劇、現代劇の映画等（ただし、アニメーションは除く））を顕彰することで、「日本映画発祥の地・京都」の映画文化の振興に資する。
2. 名称、授賞数、賞 金	京都映画賞作品賞 1作品 10万円
3. 対象作品	京都を題材、舞台、撮影、ロケ地とした映画で、前年度（2025年9月～2026年7月）の間に劇場公開され、1週間以上の有料劇場公開された長編（概ね60分以上）作品。ただし、（※アニメーション作品は除く。）
4. 選定方法	京都映画賞会員による投票
5. 投票方法	インターネット（公式WEBサイト）による投票

(3) 優秀スタッフ賞について

項目	内 容
1. 趣 旨	映画等の映像制作に関わる京都に所縁のある優秀なスタッフを顕彰し、受賞者の功績・仕事内容にスポットを当て発信することで、京都の映画業界の担い手の継承につなげていく。
2. 名称、授賞数、賞 金	京都映画賞優秀スタッフ賞 2、3名 各10万円
3. 対象者	京都の映画業界を支えている優秀なスタッフを対象
4. 選定方法	実行委員会委員からの推薦で候補者リストを作成し、審査委員会の選考により決定

(4) 奨励賞について（※実施可能性について今後継続検討）

令和7年度においては、京都映画賞の周知やPRに繋がる事業に重点を置くこととし、「奨励賞」については、実施内容や支援のあり方を含め検討を継続することとした。令和8年度については、令和9年実施に向けて継続検討する。

(5) 牧野省三賞【新規】

項目	詳 細
1. 趣旨	映画等の映像制作に関わり日本映画の創造と発展に貢献した方を顕彰することで、京都の映画業界の担い手の継承及び映画都市としてのブランド向上・魅力発信につなげる。
2. 名称、授賞数、賞 金	牧野省三賞 1名 100万円
3. 対象者	日本の映画業界を牽引いただいている方を対象
4. 選定方法	実行委員会での協議を踏まえて今後選定方法を決定

(6) 令和7年度優秀スタッフ賞受賞者功績発信動画の制作について

受賞者御本人や周辺の方へのインタビューなどを通して、普段見ること、触れることができない「映画の仕事」や「受賞者のお仕事に対する考え方」などを1人3～5分程度の映像にまとめ京都映画賞公式ホームページ等で公開する。

- 令和7年度優秀スタッフ賞受賞者（3名）
- 1 清家 三彦 [殺陣師・擬斗]
 - 2 原田 哲男 [美術]
 - 3 峰 蘭太郎 [時代劇所作指導・講師]

(7) 京都映画賞に関する広報・情報発信の取組

- ・ 京都映画賞について、ポスター・チラシ、市民しんぶん等の紙媒体及びホームページやSNSを通じた周知を行うと共に、関係機関の持つ媒体を通じた広報協力を求める。

(8) 会員限定イベント及び映画に関する講座、野外映画鑑賞会の実施

- ・ 京都映画賞の認知度向上に向け、会員限定イベントの実施や京都にゆかりのある映画の野外上映会を開催する。

年間スケジュール(案)

令和8年

令和9年

